



TIP TOP  
株式会社ティップトップ

# 外壁塗装 体験記



株式会社ティップトップ  
〒121-0832 東京都足立区古千谷本町1-8-20  
TEL 03-6807-1737  
FAX 03-6807-1738  
0120-399-391  
info@tiptop-paint.jp  
www.tiptop-paint.jp



# Contents

塗装のきっかけ	02 ↑
TIPTOPに決めた!	02 ↓
打ち合わせ	03 ↑
ごあいさつ	03 ↓
まずは足場組立	04 ↑
高压洗浄	04 ↓
シーリング撤去	05 ↑
下地づくり	05 ↓
マスキング	06 ↑
シーリング打ち替え	06 ↓
屋根塗装	07 ↑
外壁塗装	07 ↓
外壁塗装	08 ↑
バルコニー防水塗装	08 ↓
その他塗装	09 ↑
補修作業	09 ↓
完成!!	10 ♡



Before



After

## 塗装のきっかけ

STEP  
1



素人目にも一見して劣化が見てとれるほどの「色褪せ」。

屋根は傷めで「欠け」「色褪せ」とから「ビスの外れ(?)」。指で擦ると白い粉が指に付着、よく言う「チョーキング」。バルコニーには地震で入ったのか「かなり大きめのヒビ」。角という角に「カビ、カビ、カビ」。陽当たりの悪い所は「コケ」だか「カビ」だか…。極めつけは雨漏り回避の為の外壁材の接合部のシーリングが「ほぼ無い」…。

内側に防水シートはあるんだろうけど、中の木材やらされたらアウトだし、さすがに限界。こうして塗装を決断!

## TIPTOPに決めた!

塗装にあたり我が家家の優先順位はこんな感じ。

1. 傷みの補修(必須)
2. 外壁のイメージの改善
3. 予算内



上記3つの条件を満たしてくれそうな会社にお任せ。ただ「塗りました!」みたいなところは避けたい。シンプルだけ意外とわがまま(汗) ?

そんなわがままを最終的に具現化するのが職人さんの「心と腕次第」と、自社の職人さんについて熱く語る社長さん。確かに職人さんの腕で具現化、補えるものって多い。

過去の仕事も見学させていただき、きめ細かい丁寧な仕事を再確認。さらに職人さん各々の資格やカラーコーディネーターの方の存在。

塗料に関してはほぼ「マニア」のTIPTOPさんと塗料メーカーとの交換した相互保証。それら一つひとつが背中を押してくれた大切な要素です。

STEP  
2



## 打ち合わせ

補修方法は事前に状況確認を行って、ベストな提案をいただき合意。

次にイメージ。帰宅時にハッピーに感じる色とそれなりに落ち着いた色の2色（クリーム系と緑系）と方向性はある程度決めてからの訪店。しかし実際のサイズ感での印象とサンプルの印象の違いを知り、また質感まで考えるとだんだん迷いが生まれました。

が、カラーコーディネータの方がこちらの好みをベースに知見・経験からいくつかご提案があり、実際の物件を見学、さらにサンプルと比べながら徐々にイメージを固めていきました。親身に相談に乗っていただき、しっかり最終イメージを思い描いたうえで決断することができました。



色選びってホント難しい。イメージがわかない。  
大丈夫です。ご相談ください。



## まずは足場組立

施工開始!  
まずは足場の組立。

シンプルな家のつくりのせい?  
テンポよくパーツ(?)が積み上げられ、あっという間に足場が完成!

それでも結構な高さ、怖くないのか?

組立後「足場つかって誰かに侵入されそう」とか内心ちょっと心配になったけど、防犯カメラもつけてもらってセキュリティ一面も盤石。



監視カメラ



## ご挨拶

着工前の近隣へのご挨拶。  
本来自身でのご挨拶を考えてましたが、はるかに人当たりの良さそうな担当の方に完全に甘えることに。

施主側の普段の仕事のタイミングやご挨拶先での近隣の方々の心配事などの質問に即答できることを思うと、一緒に行くのがベストで、次にご対応お願いするがいいのかなと感じます。



ご挨拶



## 高圧洗浄

汚れが上から下に流れるように屋根から洗浄。さらに外に飛ばないように可能な限り内側に向けて洗浄していくらしい。

陽当たりの悪い家の裏側のコケもカビ、積年の汚れも一網打尽。  
家の周りも、駐車場もピカピカ。

最後は側溝に溜まった汚れも丁寧に取り除いてくれました。  
そこまでやるんだって、ちょっと感動。



側溝の汚れ



## シーリング撤去

陽が当たらない面のシーリングは残っているので縋った状態で綺麗に気持ちよく剥がれます。

一方で陽当たりのよい面のシーリングはほぼ残骸(カス)。ひとつひとつ確認し取除く細かな作業。

上から貼替えちゃえば分からないだろうと思うけど、結果この作業が後々のシーリングの耐久度にも関わるようで時間かけて丁寧に作業していただきました。



## マスキング

玄関周り・窓枠と次々と養生・マスキング。  
施主の日常生活を考えた上で対応は現場で毎回違うだろうし、きっと想像以上に経験が必要なことなんだろうな。

マスキングテープを短めに所々切って折りたたむ。

これは一時的に剥がす際の影響箇所を最小限におさえるためかもしれない。いろいろ理由がありそう。



マスキング



## 下地づくり

何やらサンドペーパーで経年の汚れやサビで凹凸を均して、サイディング下の見えないとこも細かくペーパー掛け。



「ツルツルにするのかなと思いま  
や、「ツルツルにしそうでも塗  
料が流れてしまうので、多少の  
ザラつきが必要なんです」と  
職人さん。

どのくらいのザラつきかは感覚  
なんでしょうね。きっと。

下地作りが塗装の見た目以上に  
気の抜けない作業なんですね。



## シーリング打ち替え

マスキングも終わり、たっぷりの  
シーリングを注入。押し込んで平  
らにして余分な物は取り除く。

簡単そうに見えるけど、動きながら同じ力を掛け続けるのはかなり難しそう。

長年の心配の種、雨漏り起因の  
建物内部の腐食の恐怖からようやく解放！



STEP  
11

## 屋根塗装

普段見ることはできない屋根。ここも他同様、傷み・剥がれ・留具が外れての浮き等など想像以上に劣化、劣化、劣化。

これらを前もって補修いただき、その後下塗り。下塗りは「遮熱性」と、塗料の付着?を強化する目的があるらしい。中塗りで仕上がりの全体の雰囲気が見えてきて、上塗りで屋根完成!

それにしても天気に恵まれ屋根の上は気持ちよさそうでした。



STEP  
12

## 外壁塗装

外壁の緑部分。色褪せた壁があとという間にマットな優しい白の下地で覆われる。これはこれであり!

「補修・養生・マスキング・ペーパ掛けなど、下地処理をきちんとやっておくと塗るのは意外と早いんですよ!」と職人さんがおっしゃっていました。

もちろん全て完璧ではないので後々の調整は必要とも。

言われてみれば日々の食事ひとつとっても「準備」が一番大事な作業だって思いますよね。元の「傷んだ白」から「マットな白」の下地へ、中塗りの「深緑」から上塗りで「優しげな深緑」へ。工程を徐々に楽しむ間もなく、ホントあっという間でした。



STEP  
13

## 外壁塗装

緑の部分と同じように下塗り・中塗り後、より立体的に見えるように特殊なテクスチャ塗装。

家のサイディングが「フラット」なので、最初から石模様のサイディングに比べかなり職人さんの塗装技術と感性が必要な作業。しかも広い範囲を均等に塗装するとなると…確認するだけでも難しいはず。

テンポよく、無理な体勢で塗装を行うこともなく身体の位置を変え、均一に塗られていく。なんとも所作がね。ホント美しい。二度目のテクスチャ塗装で濃淡がより強調されほぼ完成。更にこの上にコーティング塗っていただいて塗装完了。完璧!



STEP  
14

## バルコニー防水塗装

遮るものもなく日当たりが良すぎるムダに広いバルコニー。つまり日焼けや埃でここも劣化が相当進んでいる…。

雨の日はチャンスとばかりのデッキブラシを持ってゴシゴシ磨いてたがホントのところ、どうなんだろ? これも塗膜を剥がし、劣化の一因になるのかもしれない。聞いておけばよかった。

ここも下地処理後に下塗り、隅々まで丁寧な中塗りでこびりついた「シミ?」も消され、上塗りでまさに新品同様。



# 外壁塗装 体験記

# 完成!!



## その他塗装

STEP  
**15**

メインの作業以外にもガスメーターだったり、ドア付近のライトだったり、給湯器周り等々の細かい塗装もある。

ベランダにある小さい四角い窓の中までしっかりテクスチャ塗装されていて、本当に丁寧。

痒いところに手が届くというか、細かいところまで手を抜かない。



「新築みたいになりますよ！」は塗装前の社長の言葉。

こうやって家を眺めるのはいつぶりだろう？  
帰宅時、玄関の雰囲気がちょっと優しげで良いんですね。

なるほど、「塗装で人を幸せに」でしたね。

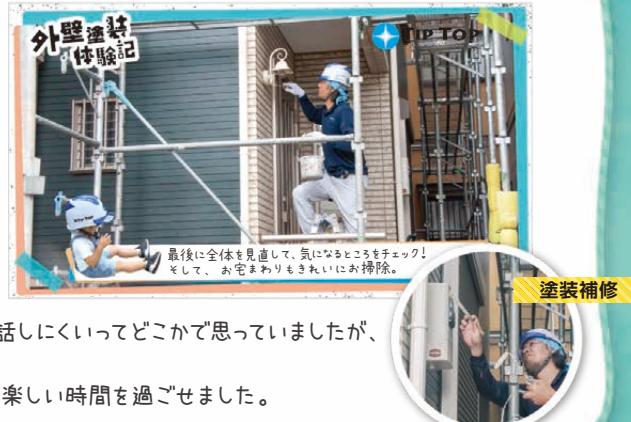


## 補修作業

最後に細かく点検して補修作業。  
もういいんじゃないかな？って  
こちらが思うくらい仕上がりにこだわってくれます。

感謝。

職人さんはどちらかというと強面で話しにくいくてどこかで思っていましたが、  
ホントただの偏見ですね。  
作業の説明も何気ない会話も含め楽しい時間を過ごせました。



大切なのは「どこまでこだわれるか」。  
職人のちょっとしたこだわりを感じてもらえたなら嬉しいです。  
1、10年後の無料点検で、またお会いしましょう♪

